

家庭と学校を結ぶ学校通信	鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中学校 2012. 1. 10 No.9 【宮田】 生徒数 705名 世帯数 640世帯 Tel 047 (444) 0456 http://www.kamagaya.ed.jp/kamatyu
鎌中の花だより ＜学校教育目標＞ 「自ら学び・考え・判断できる生徒」	

飛 躍

平成24年が穏やかに幕を開けました。
希望に満ちた新春を迎えられたことと思います。年のはじめ…毎年思うことですが、新年は大人も子どもも清らかな気持ちになり、目標を持つには本当によい機会だと思います。一人一人しっかりした目標をたて、その目標に向かってがんばってほしいと考えております。
さて、今日から3学期。1年の中で一番短い学期ですが、次年度に向けての非常に大切な学期でもあります。3年生は進路に向けて全力で取り組み、何とか希望する方向に進んでいてもらいたいと願っております。2年生は最高学年になる年ですので、その自覚をしっかりと持ち、今まで築いてきた素晴らしい伝統を受け継いでほしいと思います。1年生は、もうすぐ上級生になります。よいお手本になれるようにいろいろな面で力をつけてほしいと思います。
今年も鎌ヶ谷中学校の生徒がしっかりとした足どりで進み、それぞれに活躍できるよう教職員一同精一杯支援してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

校長 眞田 学



『いよいよシーズン到来です』

新春にふさわしい穏やかな天候ですが、朝晩の冷え込みは一層厳しくなってきました。昨年12月に市内の学校でインフルエンザの報告がありましたが、本校では現在その報告はありません。

厚生労働省によると、平成21年に流行がみられた新型インフルエンザについては今シーズンからは季節性インフルエンザとして同じ対応を行うとのこと。季節性インフルエンザには、A/H1N1型（平成21年に流行した新型インフルエンザと同じもの）、A/H3N2亜型（いわゆる香港型）、B型の3つの型があります。

12月の保健だよりにも掲載しましたが、感染症は出席停止になります。医師に診断された場合、学校への連絡をお願いします。また、「罹患連絡票」（りかんれんらく票：病気にかかったことの報告）は出席停止期間が明けた後、学校から用紙を配布します。保護者の方が記入の上、提出してください。

今後、体調を崩す生徒の増加が予想され、早退の場合もあります。お子様と確実に連絡が取れるように連絡先を御確認下さい。

養護教諭 藤平 祐子

12月の大会結果・表彰

○卓球部

・葛南学年別強化大会

<2年男子の部>

鈴木 翼さん 3位

長倉 渉さん ベスト8

鈴木 彪流さん ベスト16

<1年男子の部>

秋澤 将也さん 3位

足立 壮史さん ベスト8

十河 輝大さん ベスト16

<2年女子の部>

荒井 梨沙さん ベスト16

<1年女子の部>

藤江真悠子さん 3位

市村 菜樹さん ベスト8

※以上の選手は県大会出場です。

ふれあいカード

JRCを中心に全校で「ふれあいカード」を作成し、昨年度末に約600枚を市内の各福祉施設に贈りました。心温まる多数のお礼の手紙ありがとうございました。

公立高校入試の日程

《前期選抜検査》

○出願：2月 6日（月）・ 7日（火）

○検査：2月14日（火）・15日（水）

○発表：2月21日（火）

《後期選抜検査》

○出 願：2月23日（木）

24日（金）正午

○志願変更：2月27日（月）

28日（火）正午

○検 査：3月 1日（木）

○発 表：3月 7日（水）

1月の行事予定

10日（火）始業式

11日（水）給食開始 3年実力試験
拡大中央委員会

13日（金）全校委員会
若草クッキー作り（南部公民館）

17日（火）県内私立推薦入試開始

18日（水）放射線測定
特別支援教育作業学習展
（～20日 市役所ロビー）

20日（金）英語検定 鎌中学区連絡協議会
授業練磨の日（学校開放）5校時

22日（日）都内私立推薦入試開始

24日（火）インターネット安全教室
（5・6校時）

27日（金）漢字検定

28日（土）小さな親切作文表彰式

31日（火）1年生「働く人に学ぶ会」
（5・6校時）

※1月の完全下校

○～13日 16：45、16日～ 17：00

今年の干支・「龍」の話

龍を線で描いた絵は弥生時代後期（紀元1・2世紀）近畿地方と岡山を中心に静岡から鹿児島まで広く分布しています。絵を分析すると、水をつかさどる精霊である龍は、稲妻によってその姿を現すと考えられていたと推定されます。

千葉県の北総地域でも龍にまつわる伝説が残っています。日照りが続き苦しむ農民の願いを聞き入れて雨を降らせた印旛沼の主の小龍は、龍王の怒りに触れ、体を頭・腹・尾の3つに裂かれてしまいました。小龍に感謝した人々は、それぞれを龍角寺（栄町）、龍腹寺（印西市）、龍尾寺（匝瑳市）にまつたといわれています。